

# 製品安全データシート

作成日: 2012年5月14日 / 更新日: 2012年5月14日

## 1. 製品及び会社情報

製品名 工業用洗浄剤 SGW  
主用途として、 金型部品洗浄、脱脂  
会社名 株式会社オーテックエーボリューション  
住所 東京都大田区東馬込2-19-10  
担当部門 化成品課 / 電話番号 03-5718-7425 / FAX番号 03-5718-7426  
緊急連絡先 同上 / 受付時間 月~金 9:00~17:30  
登録番号 SW120514

## 2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 : 強い眼刺激

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

#### 健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分5

(経皮) : 区分外

(吸入; ガス) : 分類対象外

(吸入; 蒸気) : 分類できない

(吸入; 粉塵、ミスト) : 分類できない

皮膚腐食性 / 刺激性 : 区分2

眼損傷性 / 刺激性 : 区分2A

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 区分外

生殖細胞変異原性 : 区分外

発ガン性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 分類できない

特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 分類できない

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性) : 区分2

水生環境有害性 (慢性) : 分類できない

オゾン層への有害性 : 区分外  
 ※上記で記載がないものは分類対象外または分類できない

### GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 警告  
 危険有害性情報 : 飲み込むと有害のおそれ  
 皮膚刺激  
 強い眼刺激  
 水生生物に毒性

### 注意書き

- [安全対策] : 使用前に取扱説明書入手し全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 環境への放出を避けること。
- [応急措置] : 取り扱った後、手を洗うこと。  
 次の場合は直ちに医師に連絡し診断/手当てを受けて下さい。  
 (皮膚刺激、発疹が生じた場合、眼に入った場合、飲み込んだ場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合)  
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗浄すること。  
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
 その後も洗浄を続けること。
- [保管] : 容器を密閉して換気のよい場所で保管すること。涼しい所に置くこと。
- [廃棄] : 内容物/容器を廃棄する時は、関係法令に基づき、自社で適正に処理するか廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

### 3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物  
 化学名 : (主成分)ホリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル 1~ 3%  
 官報公示整理番号(化審法) : 既存  
 官報公示整理番号(安衛法) : 既存

### 4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気がある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 清浄な水できれいに洗い流し、触れた部分に刺激が残ったり発疹が起った場合には医師の診断を受ける。

目に入った場合	: 清浄な流水で最低15分間洗浄した後、直ちに眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の診断を受ける。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。
応急処置をする者の保護	: 救済者はゴム手袋、保護眼鏡等の適切な保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

消火剤	: 引火性液体に該当しないので、泡、噴霧水、乾燥砂等。
使ってはならない消火剤	: 情報なし
特有の危険有害性	: 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
特定の消火方法	: 周辺火災の場合で、移動不可能の場合は、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。製品は着火しないが、梱包容器が着火した場合は火元(燃焼源)を断ち、適切な消火剤を用いて風上より消化する。
消火を行う者の保護	: 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業には、必ず適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	: 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
除去方法	: 少量の場合、吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等で良く拭き取り、多量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム缶等に回収する。回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。
二次災害防止策	: 漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。床が濡れた状態で放置すると滑り易く、スリップ事故の原因となるため注意すると共に、漏出物の上をむやみに歩かない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
安全取扱い注意事項	: 十分な空間用地のある作業場で、換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱い後は、手洗い、洗眼を十分に行い、うがいをする。 洗浄剤以外の用途では絶対に使用しないこと。
保管	
適切な保管条件	: 直射日光と高温の雰囲気避け、密栓し冷暗所にて保管する。 安全な容器包装材料 : 製品使用の容器に準ずる。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 十分な空間用地のある作業場で、換気を十分に行える換気装置を設置する。取扱い場所の近くには、洗眼及び身体洗浄の設備を設置する。
管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	: 設定されていない。
保護具	
呼吸器用の保護具	: 通常の手扱いは特に必要ない。
手の保護具	: 不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋
目の保護具	: 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣
適切な衛生対策	: 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
形状	: 液体
色	: 乳白色
臭い	: 殆どなし
臭いの閾値	: データなし
pH	: 8.4~9.4
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲	
沸点	: データなし
融点(流動点)	: 約-5℃
分解温度	: データなし
引火点	: 水溶液であり、引火しない
発火点	: データなし
爆発特性	
爆発限界 上限	: 該当しない
爆発限界 下限	: 該当しない
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重	: 1.02~1.05
溶解性(水溶解性)	: 水に対し任意に溶解する。
n-オクタノール/分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の手扱い条件では安定である。
反応性	: 自己反応性なし
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 水と同様に濃硫酸と接触すると発熱する。

危険有害な分解生成物 : 情報なし  
 その他 : 長期に静置して置くと分離が見られるが、攪拌し、均一にすれば物性、性能には大きな変化が無い。

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : (ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル) LD50 4,190mg/kg(ラット雄、EO9) 1)  
 (経皮) : (ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル) LD50 20cc/kg 以上 (モルモット、EO9) 1)  
 (吸入:ガス) : 分類対象外  
 (吸入:蒸気) : データなし  
 (吸入:粉じん、ミスト) : データなし

皮膚腐食性/刺激性 : (ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)  
 皮膚剥離、紅斑あり (ラット、EO9; 12.5~100%) 1)

眼損傷性/刺激性 : (ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)  
 中刺激性 (ウサギ、EO9)  
 トレース'評点: 25/110(Slightly~Moderately) (ウサギ、EO9)  
 トレース'評点: 55/110(Severely) 1)

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : (ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)  
 呼吸器感作性: データなし。  
 皮膚感作性 : 感作性認められないが、繰り返しのデータなし。  
 (ヒト 50 人、EO1、3、5、13) 1)

生殖細胞変異原性 : (ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)  
 陰性; 遺伝毒性 in vitro (EO9) 1)  
 陰性; 遺伝子突然変異 (EO9) 1)

発ガン性 : データなし

IARC : リストアップされていない  
 日本産業衛生学会 : リストアップされていない

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器毒性(単回暴露) : データなし  
 特定標的臓器毒性(反復暴露) : データなし  
 吸引性呼吸器有害性 : データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性 : LC<sub>50</sub> = 88mg/L(ヒメダカ 48hr) 2)  
 (ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)  
 LC<sub>50</sub> 7.2mg/l(魚類ニジマス、96h)(EO10) 1)  
 EC<sub>50</sub> 8.6mg/l(甲殻類オオミジンコ、48h)(EO10) 1)

残留性/分解性 : 生分解度 95.0% 3)

生体蓄積性 : (ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)  
 高濃縮性ではない (EO9) 1)

土壌中の移動性	: データなし
その他のデータ	: BOD = 61,000mg/L、COD = 160,000mg/L 4)

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却する場合、関連法規・法令を厳守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を厳守し、適正に処理する。 本品の低濃度排水は水質汚濁防止法及び都道府県条例等に従って処理する。
汚染容器・包装	: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合は、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を厳守し、適正に処理する。

## 14. 輸送上の注意

国連分類	: 分類基準に該当しない
国連番号	: 該当しない
容器等級	: なし(容器は破損、腐食、割れなどのないものを使用する)
国内法規制	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

## 15. 適用法令

国内適用法	
化審法	: 該当しない
消防法 危険物	: 該当しない
労働法 危険物	: 該当しない
表示	: 該当しない
有機則	: 該当しない
特化則	: 該当しない
通知対象物質	: 該当しない
毒物劇物取締法	: 該当しない
船舶安全法	: 該当しない

化学物質管理促進法(PRTR法) : 該当しない

---

## 16・その他の情報

### 引用文献

- 1) 日本界面活性剤工業会 提供データ
- 2) 外部機関測定データ
- 3) 外部機関測定データ
- 4) 外部機関測定データ

※ ここに記載した情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。又、注意事項は通常的な取扱いを対象としたものであり、使用前のテストを含め、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。